

事業報告書

事業年度

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

法人名 公益社団法人 心の里親会・奨学会

事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

公1 児童養護施設で生活する児童への支援

1 文通事業

児童養護施設で生活する子どもたちを励ます目的で、札幌市及びその近隣市町村に所在する児童養護施設の子どもたちと文通し、実施に当たり必要な研修を次のとおり行った。

- 1) 文通を希望する子どもたちと会員が、1対1で、平均1ヶ月1回文通した。
令和7年度の文通実施延回数は約740回であった。
令和7年度は、新たに2組の子どもと会員が文通を始め、卒業や退所等により12組が文通を終了した。

- 2) 文通した児童養護施設は次のとおり。
札幌南藻園、興正学園、羊ヶ丘養護園、柏葉荘、ふくじゅ園、
天使の園、櫻ヶ丘学園
(以下、「児童養護施設」と言う。)

※ 令和8年3月31日現在の文通児童数は53人、文通会員数は46人

- 3) 文通会員のつどいを次のとおり開催した。
文通の現状について話し合い、学ぶため、「第50回文通会員のつどい」を、令和7年8月29日(金)、札幌サンプラザで開催した。会員39人、児童養護施設代表10人が参加した。令和7年度前半は櫻ヶ丘学園園長菅敦先生の講話、後半は会員が施設ごとのグループに分かれて話し合った後、感想を記載・披露した。
なお、その内容を「心の里親しんぶん第240号(5面)」に掲載した。

2 施設訪問事業

児童養護施設が主催する行事に参加し、子どもたちと交流し、その育成に寄与するために「施設訪問」を行った。実施内容は次のとおり。

- 1) 札幌南藻園(2日間 10人)
南藻園祭り 9月20日 9人
卒園・卒業生激励会 3月7日 1人
- 2) 興正学園(3日間 44人)
新入学児童を祝う会 4月27日 7人
興正フェスタ 9月7日 27人、新しい旅立ちを祝う会 3月15日 10人
- 3) 羊ヶ丘養護園(1日間 5人)
園内祭 9月20日 5人
- 4) 柏葉荘(1日間 9人)
柏葉まつり 9月6日 9人
- 5) 天使の園(3日間 14人)
エンゼル祭 9月23日 8人
交流会・メモリアルデー 11月23日 2人、卒園退園式 3月20日 4人
- 6) 櫻ヶ丘学園(1日間 22人)
交流会・奨学金授与式 7月19日 22人

3 家庭実習事業

令和7年度、文通児童が会員宅にホームステイし家庭実習をする事業について、8月に2人が日帰りで会員宅を訪れた。宿泊はなし。

4 新しい出発を励ます会事業

文通から始まる当法人の支援活動は、奨学金給与や施設訪問活動等を行い、高等学校卒業で終了する。児童養護施設を卒園し就職・進学する子ども（卒業の日まで、この法人の奨学生であった者）を対象に、「新しい出発を励ます会」を開催した。児童のこれまでの苦労と努力を労い、新しい門出を祝福・激励した。内容等は次のとおり。

- 1) 開催 令和8年2月14日(土)、札幌サンプラザ
- 2) 参加 卒業生35人(卒業生36人の内1人は実習等のため欠席)、会員等49人
- 3) 内容 来賓祝辞、文通していた卒業生と文通会員とのエピソード紹介
卒業生の今後の進路や決意の発表、卒業生代表の謝辞
- 4) 贈呈 新生活を始めるに当たり必要な品物を、当法人・企業・個人から贈呈した。
(ストッキング、靴下、バスタオル、ハンドタオル、爪切り、
歯磨きセット、飲料)

5 小学校入学祝寄贈事業

児童養護施設に在籍中で、令和8年4月から小学校1年生に就学する児童に、通学に必要な品物を2月27日に次のとおり寄贈した。

- 1) 寄贈品 通学用の靴、筆入れ、鉛筆、消しゴム、靴下、ハンドタオル
- 2) 寄贈先 興正学園1人、羊ヶ丘養護園1人、柏葉荘1人、天使の園4人、
櫻ヶ丘学園3人 合計10人、(札幌南藻園、ふくじゅ園は入学者なし)

6 クリスマスプレゼント寄贈事業

令和7年度は、クリスマスの頃、児童養護施設の子どもたちに生活用品を寄贈するこの事業は行わなかった。

7 展覧会事業

児童養護施設の子どもたちが、展覧会に出品する作品制作に努力し、或いは、作文を書きいろいろなことを見つめるなど、展覧会事業参加を通じ子どもたちが成長する機会を与えることを目的としてこの事業を行う。併せて、展覧会で大勢の方に子どもの作品を観て頂き、児童福祉や子どもの教育について、改めて考えて頂く機会になることを期待しこの事業を行う。令和7年度は次のとおり行った。

- 1) 募集と応募
令和7年8月、児童養護施設に対し「絵画展及び書道展並びに作文コンクール」の開催を知らせ、出品を勧めたところ次のとおり応募があった。
①絵画展 67人 ②書道展 30人 ③作文コンクール 11人
- 2) 審査会を開催し優秀作品を選考した。審査員と審査内容は次のとおり。
①絵画展 令和7年10月2日(木)開催。 審査員 阿部 宏行 氏
優秀作品16点を選考
②書道展 令和7年10月1日(水)開催。 審査員 大上 凌胡 氏
優秀作品12点を選考
③作文コンクール 審査員 五十嵐 いおり 氏
優秀作品3点を選考

選考理由を、展覧会場に掲示した他、「表彰式」で審査員が講評、「心の里親しんぶん第240号」に掲載した。

3) 展覧会開催

次のとおり、絵画・書の展覧会を開催した。

令和7年10月22日(水)～23日(木) 北海道庁 道政広報コーナー(入賞作品)

令和7年11月1日(土)～6日(木) 札幌市地下街オーロラコーナー(全作品)

4) 表彰式開催

優秀作品の表彰式を次のとおり開催した。

① 開催 11月15日(土)、札幌サンプラザ

② 参加 73人(受賞者 28人 来賓、施設関係者、会員他 45人)

③ 内容 表彰、お祝いの言葉、入賞者代表の言葉、第一席作文朗読、

④ 入賞者に賞状と楯を、選外の子どもには賞状を、そして応募者全員に
参加賞(絵の具、筆、原稿用紙、菓子、飲料等)を出賞した。

8 広報事業

1) 心の里親しんぶん発行

①発行期日 239号(7月15日)、240号(1月15日)

②発行部数 各号とも1,300部

③主な内容 実施した事業の報告、法人からのお知らせなど

④配布先 公共施設、支援者、他

2) ホームページ

①内容 法人紹介、活動報告、情報公開、

②更新状況 6月16日 年間予定を変更

令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画・
収支予算を公開

8月27日 心の里親フェア開催のお知らせを公開

10月16日 児童絵画展・書道展開催のお知らせを公開

9 心の里親フェア開催事業

児童養護施設を対象に行っている活動を知らせ、支援を求める目的で、次のとおりこの事業を開催した。

1) 開催 9月15日(月・祝)、午前11時～12時 札幌市民ホール会議室

2) 内容 展示、手作り品販売、心の里親しんぶん等の配布、

3) 参加 来客等含め約150人

10 活動報告会事業

当法人の令和7年の活動を報告し、意見交換を行った。

1) 開催 令和8年1月22日(木)、札幌サンプラザ

2) 対象 当法人の支援者、当法人の活動に関心がある一般の方

3) 内容 ①活動報告 令和7年活動報告(全体報告 1題)

②交流会 昼食を兼ね、出席者が意見交換や交流を行った

4) 参加 ①活動報告 54人、②交流会 47人

1 1 奨学金給与事業

児童養護施設で生活し、高等学校等で修学する子どもたちに、奨学金を給与した。修学にかかる経済的負担を軽減し、勉強や部活に励み、将来を担う立派な社会人になることを願い、次のとおり行った。

- 1) 募集 令和7年3月14日、児童養護施設代表に令和7年度奨学生の募集について説明し応募要領と応募に必要な書類を配布した。
- 2) 選考 6月4日(水)、奨学生選考委員会を開催、書類審査により応募者86人を理事会に推薦した。
- 3) 選考委員 委員長 梅村 武仁 氏、副委員長 林 智子 氏、委員 堂垣内 信子 氏
- 4) 認定と通知 6月6日(金)「令和7年度第2回理事会」で、奨学生応募者86人を令和7年度奨学生として承認し、その旨を通知した。
- 5) 奨学生 学校は、全日制44人、定時制5人、高等養護学校28人、通信制・単位制9人
学年別は、1学年18人、2学年30人、3学年38人、
(但し、以上の人数には、前年度も奨学生であり、引き続き更新し奨学生になった者を含む。)
- 6) 奨学生認定式・奨学金授与式開催
 - ①開催 6月21日(土)札幌サンプラザ
 - ②参加 初めて奨学生になった児童養護施設の奨学生(11人)
 - ③内容 会長訓示、奨学生選考委員長挨拶、奨学生認定書交付、奨学金給与
 - ④櫻ヶ丘学園(仁木町銀山)は、7月19日(土)に当該施設でも開催
- 7) 辞退
児童養護施設から退所等により、次のとおり辞退があった。
6月1人、10月1人、1月1人、2月1人(合計4人)
- 8) 給与 奨学金(年間1人3万円)を一回で給与。
 - ① 給与日 6月21日(67人)、7月19日(櫻ヶ丘学園 18人)
給与人数85人

収 1 前売券販売

この法人への支援をお願いするため、この事業を行った。

- 1) 内容 「福祉協賛札幌夏祭り大通ビアガーデン」の前売券販売活動
- 2) 期間 6月5日から8月4日まで
- 3) 対象 個人、団体、企業

(参考)

全事業の活動延人数と活動延時間(支部活動報告より)

公益事業	1,268人	2488.0時間
収益事業	43人	80.0時間